

プロジェクトのねらい

- 多様な主体による協働型社会の実現
- NPOに対する寄附文化の醸成

地域の課題解決に向けて、多くのNPOがより活発に、自立的かつ安定的な活動を行うことができる環境づくりが求められています。また、行政とNPOとの協働だけでなく、企業や大学など、多様な主体が協働・連携して、複雑、多様化する地域課題の解決に当たり、ともに公共を担う社会を構築していく必要があります。

そこで、ボランティア活動の充実に向けた支援、NPOと企業などの交流と協働の促進などの取組みによって、多様な主体による協働型社会の実現を図ります。



企業とNPOの交流会の様子

具体的な取組み

1 ボランティア活動の充実に向けた支援

- NPOが地域の課題解決に向けて安定した活動ができるようにするため、寄附者が税制上の優遇を受けられる「県指定NPO法人制度」を推進するとともに、NPOに対する寄附文化の醸成に取り組みます。
- NPOの持続的な組織運営を支援するため、地域課題の解決や活性化に向けた活動に関する学びの場である「かながわコミュニティカレッジ」における人材の育成など、NPOの活動基盤の強化に向けた取組みを推進します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 県指定NPO法人制度の実施	県	法人の指定、制度の運用		
② NPO活動を支える人材の育成	県 民間	研修・講座の実施		

2 多様な主体による新たな協働の推進

- 複雑、多様化する地域課題の効果的な解決を図るため、NPOを中心に企業や大学などの多様な主体と県との協働に各部局で取り組みます。
- NPOが企業や大学などと連携して独自に課題を解決していく力を発揮できるようにするため、NPOと企業などとの交流の場づくりを進めるとともに、協働の促進を図り、その成果を広く発信していきます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① NPOを中心とする多様な主体と県との協働	県 民間	協働による取組みの実施		
② NPOと企業などの交流と協働の促進	県	交流機会の提供、協働の促進		